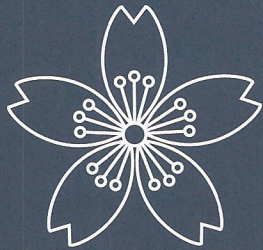


部会報

平成22年度版

第3号



学習院

学習院高等科輔仁会籠球部

学習院バスケットボール部 OB・OG 会
高等科部会

正田大先輩との館林の思い出

部会長 山 我 和 夫

平成 22 年度は学習院バスケットボール部全体 OB・OG 会の会長であられた正田宏二（以下「正田大先輩」）が会長を退任され、その任を実吉純彰氏に引き継がれたという大きなエポックを迎えました。

戦後、学校制度が旧制から新制となり、新学習院が誕生し、同時に新学習院バスケットボール部も再生したと理解しています。正田大先輩は新学習院バスケットボール部創部以来 OB・OG 会の会長の任に当たられ、全体 OB・OG 会の精神的支柱としてバスケットボール部を温かく支援していただきました。

私達高等科には、特に学習院の伝統を守る中核的存在であるようにとの期待をされていたものと思います。私の高等科時代は、正田大先輩のホームタウン館林で合宿をさせてもらい、その折正田大先輩宅に招かれ、大変緊張し奥様のおいしい料理に舌鼓を打ち、ひと時の安らぎを感じたことを想い出します。

特に昭和 49 年から 55 年にかけて、高等科の黄金時代を迎えることができたことは、従野先生の熱血指導と正田大先輩他先輩諸氏の後輩に対する暖かい思いやりと強い支援が大きな要因であったと確信しています。

現在、高等科部会役員は往時を思い、正田大先輩が我々にしてくださったことに遠く及びませんが、後輩達のため、思いやりのある支援ベースを築いていくことを目標に高等科部会の活動をしています。

平成 22 年度を振り返って

高等科 顧問 大 竹 克 明

まず始めに、今年度は OB 会より部旗をいただき、ありがとうございました。部の伝統とその重さを生徒と共に改めて感じました。この部旗に恥ずかしくない戦いをしようと公式戦にのぞみましたが、なかなか思うようにいかない一年間でした。

元々少ない新二年生をみのチームに、一年生が加わりスタートしました。三年生がいないことは言い訳にはなりませんが、がんばってきたことがイメージ通り表現できず、公式戦、練習試合とも「試合で勝つ」ということを体験させられませんでした。

しかし、ゆっくりではありますが、確実に、着実に、強くなってきていると思います。新年度は、一試合でも多くの部旗の前で勝利の瞬間をお見せできるよう、練習、試合に全力でのぞみたいと思います。今後とも応援よろしくお願い致します。

一年をふり返って

高等科 夏 原 彬

今年度、大型新人一人を含む十三人の高 I が新たに加わった。高 II は三人と更に減ったが一つのチームとしてやっとまとまり始めた。

六月の付属戦を終え、新チームが心機一転スタート。試合で戦えるチームを目標に、練習に励んだ。特に今年の猛暑では、多くが熱中症に倒れ満足いく練習が行えなかった。しかし夏合宿に於いては、皆が高いモチベーションで乗り超えることが出来た。自分としては、初めてチームで山場を超えることが出来た時だったと思う。今思い出しても本当に充実した五日間であった。また、年末にかけて、試合中に「頑張る」ことを身をもって体感した。チームとして一つ成長できた年ではあったと思う。

最後にこれからのチームでは、「一つの試合をやり遂げる」を目標に頑張っていきたいと思う。皆で気を引き締めていきましょう。

バスケットボール部本年度抱負

高等科 今 井 一 貴

昨年度は「経験」の年であった。本来ならば最高学年である三年のメンバーの後を追い、その引退を間近で目にする一方で、自分達の代を作りあげる上での心構えを少なからず構築できた。しかし、我々のチームには昨

年度の初めから三年が一人もおらず、全てを一、二年で作っていかねばならなかった。当然、その自覚も十分でなく、チームとしてプレー以前の問題を解決していかなければならなかった。途中から参加した現一年のメンバーも、そんな頼りない先輩の姿をよく覚えているだろう。だが、メンバー一人一人が自分を変えることで、改めてバスケットボールと真剣に向き合えるようになった。そうして今、昨年と同じチームで新年度に望もうとしている。昨年度経験した事を糧とし、無駄な時間を過ごす事無く、最後は良い人間として、高校部活動を終わられるように精進していきたい。

平成 22 年度の活動報告

顧問 奈良 誠

中等科は今年度、三年生十六名、二年生十八名、一年生二十一名の計五十五名の部員でスタートしました。

三年生は、21 年秋の豊島区大会での一回戦負け以来、高等科バスケット部に毎日のように練習相手になってもらい生徒たちも意欲を持って練習を続けた結果、春の区大会で三位に躍進しブロック大会まで駒を進めました。

また二年生は、夏の私立新人戦において予選ブロックで一位となったり、秋の豊島区大会で二位に入ったりと今後が楽しみです。

一年生も熱心に練習を続けている生徒が多く、技術的にも良いものを持っていますが、大きいチームではないので上位を目指すにはスピードをさらに磨かなくてはならないと思います。

一年をふり返って

中等科 尾崎 勇希

僕達の代は、秋の新人戦ではシード権をとれず、非常に悔しい思いをした。

その後の春季大会では巣鴨中学を破りシード権を獲得、夏季大会でもベスト 4 には残ったが、結局都大会に進む事は出来なかった。

同じ区内には西池袋という強豪校がいたが、学習院の中にもそれに劣らない才能を持った選手はいた。しかし怠け癖があった僕達は、チームとしての力が全く付かなかった。主将として自分の力が至らなかったと思っている。また、奈良先生・上嶋先生・従野先生には、三年間お世話になりました。

～下級生への激励～

努力する事を継続していけば、チームは必ず強くなっていきます。キャプテンを中心として、これからも意識を持って練習に励んでいってください。

中等科バスケット部の抱負

中等科 加藤 玲

僕は、昨年八月、三年生の引退と同時に、主将を拝命しました。歴代の立派な主将の先輩方に比して、かなり頼りないキャラクターの私ですが、仲間に支えられ助けられて何とかがんばっています。

現在二年生十五名、一年生二十一名、とても仲が良く、先生方の厳しいご指導の下、少しずつ力をつけてきてきていると思います。

新人戦では E ブロック優勝、都内ベスト 16。豊島区大会では準優勝という成績でした。わがチームの強みは、奈良先生の指導によるディフェンスの戦略です。

一方、弱点は高さが無いことです。他のチームにある様な、「武器となる高さ」に欠けパワープレーに頼ってしまうところがあるので、来たる春季区大会では、必ず優勝出来るよう、一丸となって練習に励んで参りたいと思います。応援よろしく願いいたします。

< 第 64 回筑波大学附属高等学校定期戦結果 >

＜事務局より＞

- (1) 正田宏二(昭25卒)様より当部会を介して中、高等科現役への活動支援の一部として金150,000円の寄付を賜り、平成23年度に配分させていただきました
- (2) 「部旗」(表1参照)の製作に際して多くの会員皆様よりご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
「喜寿のお祝い会」の席上部旗のお披露目をして、山我部会長から従野先生に伝授され高等科大竹顧問へ贈呈されました(写真①)。
- (3) 従野明宏先生「喜寿のお祝い」に際しましても多くのOB、OGにご参加いただきましたこと厚く御礼申し上げます。
当日は奥様にもお列席賜り、平成22年5月21日(土)池袋ホテルメトロポリタン「曙」に於いて山我部会長の開会挨拶で開宴し実吉OB・OG会会長のご祝辞につづき御厨OB・OG会副会長の乾杯の後、しばらくご歓談タイムをもうけてから、高等科・大竹顧問、中等科・奈良顧問と上嶋顧問の紹介があり、部旗の贈呈式、従野先生へ記念品の贈呈又奥様へ花束を贈呈の後、先生より謝辞を賜り、海老沢事務局長の閉会挨拶をもって盛況の内閉宴となりました。尚、記念品にご協力いただきましたOB・OG各位にも御礼申し上げます(写真②)。



写真①



写真②

(追伸)

「部会報第3号」発刊において大変遅くなりましたこと心よりお詫び申し上げます。
又ご寄稿いただきました方々にもお詫び申し上げます。
平成22年度の各戦績表は下記検索をご利用ください。

尚、当部会へのご要望等ございましたら下記事務局あてご連絡お願いいたします。

☆《高等科部会事務局》

〒112-0002 文京区小石川4-156-408 朋栄興業(株) 内 Tel&Fax: 03-3811-7037

◎高等科・中等科バスケットボールの日程 及び戦績を知る方法は下記に検索して下さい。

＜インターネット検索＞

東京都高体連男子バスケットボール専門部公式サイト <http://tokyo.jabba-net.com/hs/men/>
東京都中体連バスケットボール部公式ページ <http://tokyo.jabba-net.com/jhs/>